

News Letter

Vol.49 / 2024.10

日立財団では、財団の活動情報を集めたニュースレターを発行しています。シンポジウム、セミナー、表彰式などの活動報告や、最新のトピックスなど、日立財団に関するさまざまなニュースをお届けいたします。ぜひご覧ください！

人づくり

理工系女子応援プロジェクト

トークセッション&ワークショップ開催報告

2024年7月20日(土)、東京工業大学(東京都/目黒区)デジタル多目的ホールにおいて、「未来を変える理工系女子のお仕事～女性が活躍するエネルギー分野について～」と題し、パイオニアトーク&ワークショップを開催しました。女子中高生50名と、付き添いの保護者17名にご参加いただきました。



パイオニアトーク

「ゼロカーボンエネルギーについて教えてください!～わたしたちの正しい理解が未来をつくる～」

東京工業大学 ゼロカーボンエネルギー研究所 助教 石塚 知香子氏

炭素を出さないエネルギーには再生可能エネルギー、原子力エネルギー、バイオマス等があります。原子力分野では、研究者は少数で、多くは電力会社やメーカー等で働いています。エネルギー分野の仕事内容や出身学部についてもお話いただきました。



講演

「Women in Energy - the Need and the Opportunity」

(女性が活躍するエネルギー分野について～未来を変える女性のお仕事～)

経済協力開発機構/原子力機関(OECD/NEA) 事務局長 ウィリアム・マグウッド氏(同時通訳)

原子力は医療や農業など身近な分野でも活用されています。エネルギー需要が高まる中、GX技術として再生可能エネルギーや原子力の役割が期待されています。日本の抱える課題、その分野で働く女性の仕事、NEA「女子会」の活動概要と狙いについてもお話いただきました。

ワークショップ

テーマ 「エネルギーの未来を考えよう!」 東京工業大学 ゼロカーボンエネルギー研究所 石塚 知香子 助教

火力、原子力、再生エネルギーの3グループに分かれ議論。

ファシリテーターとして東京工業大学大学院生3名がサポートし、未来の「推し」エネルギーについてグループごとに全体発表しました。



倉田奨励金

2024年度(第56回) 倉田奨励金 選考開始

倉田奨励金は、日立製作所の第2代社長、故倉田主税が日本の科学技術の発展を願って設立を提唱し、資金を出捐したことにより1967年に創設された研究助成金です。

グローバルな社会課題解決力を担う次世代の研究者による自然科学・工学研究、および高度科学技術社会に通底する人文・社会科学的研究に対して助成を行い、2023年までに1,613名の研究者へ、総額約26億円の助成金を贈呈しています。

2024年度の募集は7月1日～9月16日に行い、現在、選考委員会で厳正に選考を行っております。

今年度の採択者は2025年1月に決定(予定)し、同3月に日立財団WEBサイトで発表、贈呈式を執り行います。

倉田奨励金

倉田奨励金研究報告書 第53集 WEB版公開

日立財団は、倉田奨励金による研究成果を広く一般の方にも公表するため、年1回「倉田奨励金研究報告書」を発行しています。

今年発行の53集には2021～2022年度に採択された研究テーマについて研究成果を掲載しています。

下記URLにWEB版を公開いたしましたので、是非ご覧ください。

倉田奨励金研究報告書 第53集 (2024年度発行)

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/kurata/research-report53.html>

※冊子版は2025年1月に発行予定です。



日立財団科学技術セミナー

第20回日立財団科学技術セミナー開催のお知らせ (オンライン)

日立財団科学技術セミナーは、科学の面白さや、科学の目で見る大切さを、幅広い年代の方々を感じていただくことを目的として、毎年開催する講演会形式のセミナーです。

今年度は、生理的疲労のメカニズム解明、うつ病の原因遺伝子SITH-1の発見、新型コロナ後遺症の原因の究明など多くの業績をあげておられる疲労研究の第一人者、東京慈恵会医科大学 近藤一博 特任教授を講師にむかえオンラインセミナーを開催いたします。

開催概要

第20回 日立財団科学技術セミナー

疲労とはなにか

～すべてはウイルスが知っていた

2024年
日時 11月30日 土 13:30～15:00
開催 オンライン (zoom ウェビナー)

講師

東京慈恵会医科大学
疲労医学講座
特任教授
近藤 一博氏



参加 申込はこちらから (参加無料)

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/seminar/topics/2410001.html>



うつ病も、新型コロナウイルス後遺症も、疲労とウイルスの問題だった?!

人はなぜ疲れるのだろう ～世界をリードする疲労研究の最前線

疲労は多くの疾患の原因となる重要な現象ですが、そのメカニズムは良く分かっていませんでした。我々は、疲労の正体を明らかにするために、ヒトの体内に潜伏して疲労と非常に密接な関係を持つヒトヘルペスウイルス6 (HHV-6) というウイルスを詳しく調べました。HHV-6は、疲労に反応して唾液の中に出てくるのですが、この引き金になる物質を調べることで疲労の原因がeIF2 α という物質であることを見出しました。また、HHV-6が産生しているSITH-1というタンパク質がうつ病を引き起こすことを発見しました。このSITH-1によく似たタンパク質は、新型コロナウイルスも持っており、これが新型コロナ後遺症を引き起こすこともわかりました。

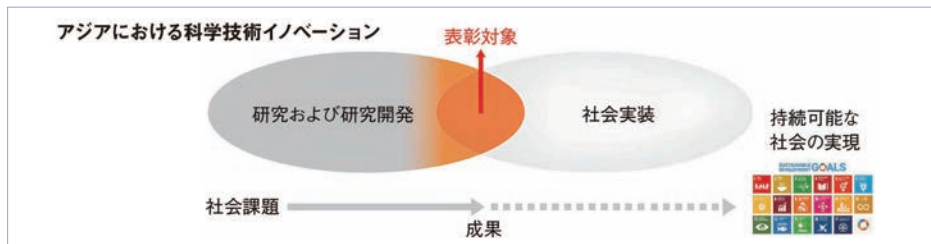
この講演では、ウイルスを通じた疲労のメカニズムについて説明することで、疲労やウイルス研究の面白さをお伝えしたいと考えています。

2024年度の受賞者選考実施

概要

日立財団アジアイノベーションアワードは、ASEANの社会課題解決と持続可能な社会実現に資する科学技術イノベーションを促進するために2020年度から開始した表彰事業です。本アワードでは、持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献を目的として、あるべき社会像を描き、科学技術の社会実装を計画に入れた優れた研究および研究開発において、画期的な成果をあげ、明らかに公益に供したと思われる個人またはグループを表彰します。

現在、2024年度の受賞者選考手続きを進めており、2025年1月末に当財団ウェブサイトにて受賞者を公開予定です。



表彰内容



最優秀賞 300万円/件



優秀賞 100万円/件



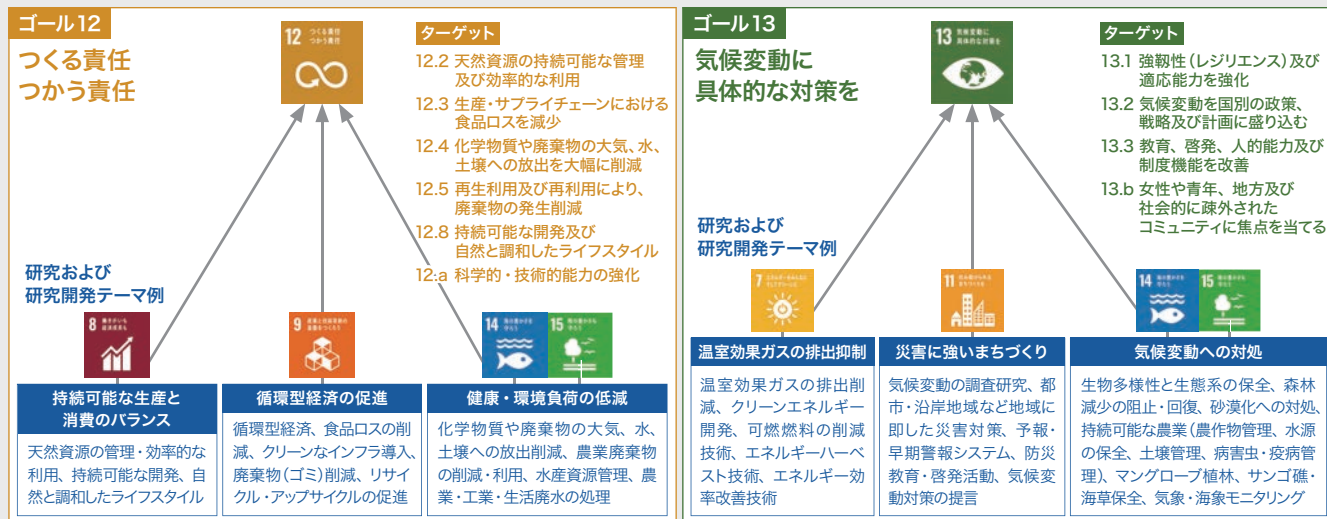
奨励賞 50万円/件

募集内容

SDGsの17のゴールと169のターゲットのうち、毎年2つのゴールといくつかのターゲットを選定し、これらに貢献する研究および研究開発の成果を募集します。また、自国やASEANのあるべき社会像を描いた、成果の社会実装計画も提出いただきます。

[2024年度の募集内容]

2023年度のASEAN諸国のSDGs達成状況や世界情勢に鑑み、ゴール12「つくる責任 つかう責任」とゴール13「気候変動に具体的な対策を」のそれぞれ以下のターゲットに貢献する研究および研究開発の成果を募集しました。



応募対象

募集内容に合わせて、毎年、ASEAN10か国の中から、対象国、対象大学および研究機関を選定し、各大学および研究機関より応募者を推薦いただきます。応募者は、個人またはグループで、対象大学または研究機関に所属する研究者、教員、学生です。

[2024年度の応募対象]

ASEAN諸国のうち、ゴール12とゴール13の課題が多く残るカンボジア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、フィリピン、ベトナムの6か国を選定し、これらの国において、ゴール12とゴール13の研究分野で国を代表する、26の大学・研究機関を対象としました。

応募書類、選考基準、スケジュール、表彰実績(件数)については、日立財団アジアイノベーションアワード事業紹介ページをご確認ください。

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/award/index.html>



日立みらいイノベータープログラム

2024年度出張授業

日立財団は、これからの理工系人材に求められる問題発見力や、課題解決力を育成するために、小学校5年生を対象としたプロジェクト型探求プログラムを実施しています。日立グループ各社と連携し、全4回の出張授業を行います。

2024年度は、渋谷区立上原小学校、柏市立光ヶ丘小学校、習志野市立鷺沼小学校、日立市立仲町小学校、豊後高田市立高田小学校の全5校がプログラム参加校です。

1回目出張授業は、「しずむ、しずまない、ちがいは何だろう?」というテーマについて仮説をたてて、実験で確かめる授業を行いました。



9月5日 渋谷区立上原小学校



9月10日 習志野市立鷺沼小学校

Instagramで授業の様子や先生・講師のインタビューをご覧ください。



9月12日 柏市立光ヶ丘小学校



9月13日 豊後高田市立高田小学校



9月18日 日立市立仲町小学校

多文化共生社会の構築

電子ジャーナル

日立財団 グローバル ソサエティ レビュー 2号

本ジャーナルは、多文化共生に関連する学術分野の有識者が相互に専門性を生かし、有機的な交流を図るためのプラットフォームとして、学術分野における新たな発想や視点の醸成に貢献することを目的に発行しています。

2024年6月に発行した第2号では「個から考える多文化共生」をテーマに、個のストーリーについて、当事者の方のお考えや活動、さまざまなご経験からのメッセージなどをご紹介しますとともに、書籍解説や客観的なデータに基づいた分析なども掲載しています。

第2号が、今後日本での多文化共生社会の構築において、これまで知らなかったこと、目を背けていたことなどに、少しでも気づく機会となり、お読みいただく方々にとって、何かのお役に立てることを願っております。

巻頭特別インタビューは、タレント・漫画家の、星野 ルネさんのインタビューを掲載しています。



グローバル
ソサエティレビュー
2号

